



うちだっ子

重点目標 なりたい自分に チャレンジ!

令和6年度2学期末教育活動児童・保護者アンケート結果について

2学期の教育活動アンケートへの御回答をありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせします。なお、「比較」の欄には、1学期と比べて3ポイント以上数値が上がった項目は「○」、下がった項目は「▲」で表しています。また、年度当初に定めている児童の目標値を達成できた項目は太字で表しています。質問項目の番号に○がついているものが、今年度の本校の重点項目です。

質問項目	児童（肯定評価割合）			保護者（肯定評価割合）		
	1学期	2学期	比較	1学期	2学期	比較
① 学校が楽しい。(目標値 93%)	93.1%	89.4%	▲	93.8%	93.8%	
2 みんなで何かをするのが楽しい。	98.6%	96%		95.1%	97.9%	
3 授業に主体的に取り組んでいる。(目標値 90%)	93.2%	96%		82.2%	84%	
4 授業がよくわかる。	95.2%	97%		80.1%	81.3%	
5 学校に信頼することのできる先生がいる。	95.9%	95.3%		86.3%	91%	○
6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。(5, 6年のみ)	91%	84.5%	▲		80%	
⑦ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。(目標値 93%)	92.4%	92.7%		89.1%	84.7%	
8 集団の課題や目標に対して、進んで行動することができる。	91.1%	93.3%				
9 委員会や係の仕事を進んで行っている。 *新規項目	93.9%	94%				
⑩ 自分のめあてに向かってがんばって活動した。(目標値 90%) *新規項目	95.9%	94.6%		87.7%	86.1%	
⑪ 振り返りをして、自分の伸びたところや直したいところがわかった。(目標値 90%) *新規項目	93.1%	92%				
12 「だいじそうじ」をめあてに向かって取り組んでいる。	93.8%	93.3%				
13 「だいじあいさつ」をめあてに向かって取り組んでいる。	94.5%	90%	▲		87.5%	
14 次のステージで自分が「学級目標」に向かってどんなことをすればよいかわかる。	91.7%	88%	▲			
15 授業の中で友達との対話を楽しい。	95.2%	96%				
16 授業では、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用したか。* 数値は毎日・週2、3回使用したと回答した児童の割合です。	80.8%	98%	○			
17 学校は、教育方針・活動の様子や状況を家庭や地域に伝えている。				95.9%	97.9%	
18 学校は、家庭や地域と連携した教育活動を行っている。				93.9%	96.5%	
19 学校は、相談や話ができる雰囲気になっている。				84.2%	91.7%	○
20 学校は、学びの場にふさわしい環境づくりがなされている。				98.4%	93%	▲
21 授業中調べる場面では、PC やタブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。* 3年生以上のみ回答	52%	94.3%	○			
22 授業中学校で、学校の友達と意見を交換する場面では、PC やタブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。* 3年生以上のみ回答	50%	46.1%				
23 学校で自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC やタブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。* 3年生以上のみ回答	44.3%	87.5%	○			

1 目標値を定めた4つの項目の達成状況

本校が重点目標の達成状況を振り返るために、年度当初に定めていた項目は、「1 学校が楽しい。(目標値 93%)」、「7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う。(目標値 93%)」、「10 自分のめあてに向かってがんばって活動した。(目標値 90%)」、「11 振り返りをして、自分の伸びたところや直したいところがわかった。(目標値 90%)」の4つです。そのうち、3つの項目で本校が年度当初に定めた目標値を達成することができました。また、目標を達成できなかった項目においても目標値に迫る数値となりました。本年度から重点目標を「なりたい自分に チャレンジ!」に変更し、児童が主体的に学び、自治的に学級づくりや学校づくりに参画することができるよう支援をしてきました。1学期の評価と比べてみると、授業に主体的に取り組んでいる項目の数値が児童、保護者ともに伸びています。また、「みんなで何かをするのは楽しい」項目においても児童、保護者ともに数値の伸びが見られ、授業や活動を通して、子供たちの学びが充実していたことが考えられます。

2 2学期の取り組みから

(1) 内田地区ふれあいフェスタ



左の写真は、内田地区ふれあいフェスタのソーランが披露されたときのものです。保護者アンケートの記述欄や当日の感想箋からも「ソーランがよかった。」「わくわく発表会の各学年の発表がとてもよかった。よく勉強しているのがわかった。」などたくさんの賞賛の声をいただきました。子供たちは、フェスタにおいて、生活科や総合的な学習の時間に学習したことを自分なりの方法で表現することができました。それぞれの子供たちの課題追求の方法は様々でしたが、相手意識をもった発表ができていたと思います。また、ソーランでは、この日に向けて、休み時間や学年部練習を積み重ねてきました。伝統ある内田小ソーランを「少しでもレベルアップしたい。」「良い姿を見てもらいたい。」という子供たちの強い願いが伝わってきました。それらが子供たちの「満足感」や「充実感」に繋がったと思います。保護者の皆様や地域の皆様の価値付けの声も子供たちの活動へのエネルギーとなりました。ありがとうございました。

(2) 地域の中で子供を育てる



2学期も「町探検」や「クラブ活動」「稲刈り、正月飾り作り」「出前授業」など地域の中で、学習する機会がたくさんありました。社会の中でも「体験」や「経験」の不足が叫ばれている昨今、子供たちが体験を通して学んだことは大きな財産になります。また、地域(内田)の中で学ぶことは、アンケート項目にもある「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。」のきっかけにもなると思います。これらの活動が、今後の内田で育っていく子供たちにとって大きな学びにつながりました。快く活動を引き受けてくださり、ありがとうございました。今後ともよろしくお祈りいたします。

3 アンケートでいただいた御意見より

お忙しい中アンケートへの御協力ありがとうございました。本校の教育活動への御理解・御協力をいただいた上での貴重な御意見だと受け止めております。特に、子供たちの活動を価値付ける貴重な意見をたくさんいただきました。子供たちが地域や家庭において頑張っていることも伝わってきました。いただいたお言葉は子供たちにも返していきたいと思っております。

今後も子供、地域、保護者から信頼される学校づくり、環境づくりをさらに推進していきます。今後も内田小の教育活動への御協力を宜しくお祈りいたします。

担当：教務主任(鷲山)